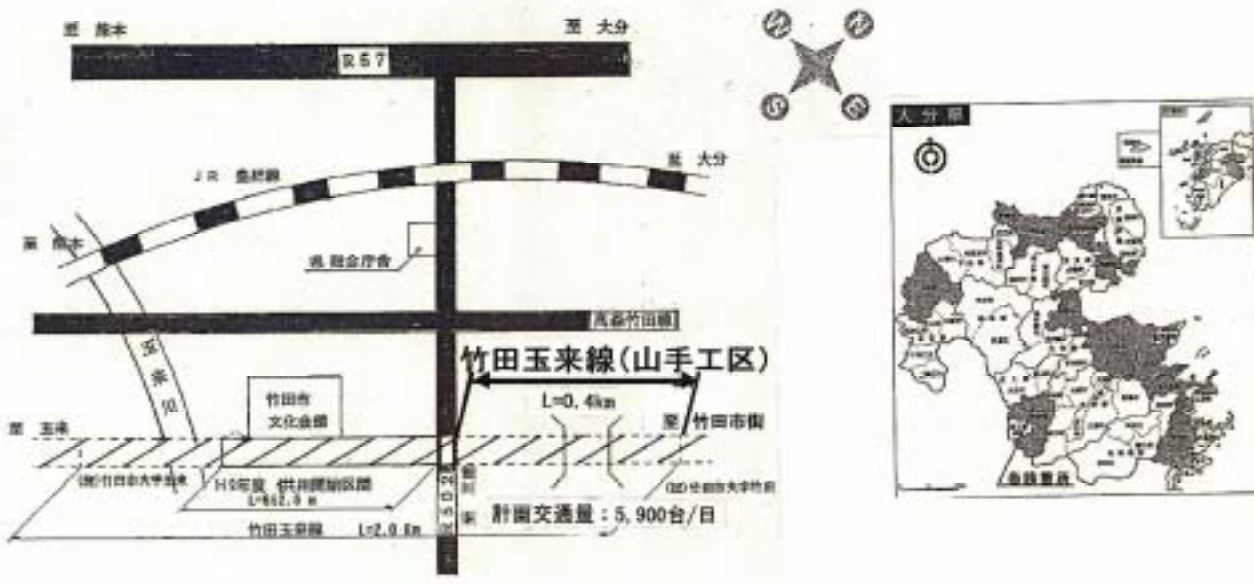


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：栗田 泰正

事業名	竹田玉来線（山手工区） <small>たけたたまらい線（やまてこう区）</small>	事業区分	街路	事業主体	大分県
起終点	自：大分県竹田市大字竹田 至：大分県竹田市大字竹田			延長	0.4km
事業概要：都市計画道路竹田玉来線は、竹田市中心市街地と市内玉来地区を結ぶ生活基盤上重要な道路であるほか、主要幹線国道57号から国道502号を介して市中心部にアクセスする2車線道路である。					
H6年度事業化	S62年度都市計画決定 (H15年度変更)	H6年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	21億円	事業進捗率	97%	供用済延長	0.2km
計画交通量	5,900台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (事業別) ---	総費用 (事業別/事業全体) —/25億円 事業費：—/25.0億円 維持管理費：—/0.1億円	総便益 (事業別/事業全体) —/39億円 走行時間短縮便益：—/33.4億円 走行費用減少便益：—/3.8億円 交通事故減少便益：—/1.4億円	基準年 平成15年	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・都市の再生（中心市街地内で行う事業である） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） 外7項目 					
関係する地方公共団体等の意見					
近年の観光入込客数増加により、本路線の整備が中心市街地の活性化につながることから、平成15年6月19日に竹田市長から県議会あてに整備促進の要望書が提出されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
竹田温泉「花水月」(H13～)や道の駅竹田(H7～)、毎秋のイベント「竹楽」(H12～)が好調で観光入込客数も近年増加傾向にあるため、中心市街地における交通量もこれに影響を受けている					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率は96%に達し、既に延長の約半分200mを供用中である。残り1地権者と用地交渉が難航している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残り1地権者と鋭意交渉を続けるが、合意に至らない場合には収用手続きに入り、早期全線供用開始を目指す。					
施設の構造や工法の変更等					
トンネル部において、幅員の縮小規定を用いており、コスト削減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる				
事業概要図					
					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの